



2025年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年9月12日
東・名

上場会社名 SCAT株式会社 上場取引所
コード番号 3974 URL <https://www.scat.inc/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長島秀夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務担当 (氏名) 西尾 忍 (TEL) 03(6275)1130
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年10月期第3四半期の連結業績(2024年11月1日～2025年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年10月期第3四半期	1,949	△0.6	147	21.7	148	16.6	93	12.7
2024年10月期第3四半期	1,961	△4.1	120	△33.7	127	△30.4	83	△39.6

(注) 包括利益 2025年10月期第3四半期 95百万円(13.3%) 2024年10月期第3四半期 84百万円(△41.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期第3四半期	33.06	—
2024年10月期第3四半期	30.01	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年10月期第3四半期	2,921	2,004	68.6
2024年10月期	2,938	1,946	66.2

(参考) 自己資本 2025年10月期第3四半期 2,004百万円 2024年10月期 1,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	6.00	—	7.00	13.00
2025年10月期	—	7.00	—	—	—
2025年10月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2025年10月1日付で普通株式1株につき0.1株の割合で自己株式の無償割当てを行う予定であり、この割当てが実施されることで実質的に1割の増配となります。

3. 2025年10月期の連結業績予想(2024年11月1日～2025年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,718	4.8	215	45.8	215	37.5	136	36.6	47.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2025年10月1日付で普通株式1株につき0.1株の割合で自己株式の無償割当てを行う予定であります。2025年10月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該無償割当ての影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 一社 (社名) 、除外 1 社 (社名) V I D株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年10月期 3 Q	5,240,000株	2024年10月期	5,240,000株
② 期末自己株式数	2025年10月期 3 Q	2,391,252株	2024年10月期	2,403,211株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年10月期 3 Q	2,842,767株	2024年10月期 3 Q	2,779,743株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 当四半期の経営成績の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2024年11月1日から2025年7月31日）におけるわが国の経済は、社会・経済活動の持ち直し傾向が続いている一方、米国の政策動向に対する懸念、不安定な国際情勢、円安や物価上昇の継続による個人消費への影響など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。コア事業の情報通信業界では、デジタル技術の進展・普及に伴い、企業の生産性向上や競争力強化を目的としたIT・DX関連サービスの提供需要が一層求められており、追い風と言える市場環境が継続しております。このような経済環境のなか、当社グループは、2024年10月期から2026年10月期までの中期3ヵ年計画を発表し、株主価値・企業価値向上のための施策、及び成長戦略に取り組んでおります。

当社は、東京証券取引所スタンダード市場に株式上場しており、さらに、2025年7月14日付にて名古屋証券取引所メイン市場にも重複上場いたしました。より多くの株主の皆様、特に当社株主構成の大部分を占める個人投資家様に向けて、当事業へのご理解と認知度の向上、並びに継続的な対話の機会の拡充を目指してまいります。

美容ICT事業では、経済産業省よりDX認定事業者、IT導入支援事業者認定され、提供する製品やコンテンツサービスがIT導入補助金の対象となり、さらに、既存ユーザーの一部には、本年10月までのWindows10の保守終了に伴う機器の入替え需要など引き合いが増え、当初見通しを超えた利益を確保しております。

ビジネスサービス事業では、ベースとなる月次業務売上が安定した収益を確保しており、さらに経済産業省より経営革新等支援機関の認定を受けコンサルティングサービスの拡充に努めております。

介護サービス事業では、介護付き有料老人ホームにおいて、本年5月以降入居者の老衰や持病の悪化等によるご逝去が重なりセグメント損益に影響がありましたが、概ね前第3四半期連結累計期間を超える実績を確保しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高1,949,564千円（前年同四半期比0.6%の減少）、営業利益147,188千円（前年同四半期比21.7%の増加）、経常利益148,794千円（前年同四半期比16.6%の増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益93,991千円（前年同四半期比12.7%の増加）となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益に基づいております。

① 美容ICT事業

美容ICT事業では、収益の柱であるシステム販売（物販）に、保守、コンテンツ、及び新たな課金型サービス等のストック収益の上積みを進めております。

当第3四半期連結累計期間は、売上の先行指標である受注の獲得が当初見通しを上回る進捗となり、売上予定案件を着実に積み上げ、前第3四半期連結累計期間を超えた利益実績を確保しております。

システム販売（物販）では、美容サロン向けDXシステム「Saclaシリーズ」の最新版である「Sacla PREMIUM Plus - DX Partner for Beauty -」をリリースし、IT導入補助金2025の活用によるDX支援商品の販売やWindows10のサポート終了に伴う入れ替え特需を確実に捉えてまいります。さらに、美容ディーラー向け販売管理システム「i-SCAP/EX」においては、ヘアサロン「モッズ・ヘア」を運営管理する株式会社エム・エイチ・グループ（東証スタンダード：9439）の展開する「請求書クラウド for Beauty」の販売、連携の協力体制を進めております。

課金型ストックビジネスにおきましては、システム販売（物販）の変動リスクを軽減するため、コンテンツや保守等によるストック型収益の積み上げを加速させ、収益基盤の安定化を図るとともに、更なる成長に向けた取り組みを継続してまいります。

また、2025年6月1日付で連結子会社のVID株式会社と合併したことにより、開発リソースの効率化を加速し、既存コンテンツのバージョンアップに加え、次世代サービスに不可欠なテクノロジーであるAIの活用による新たな仕組みの構築にも着手し、システム及びコンテンツのさらなる進化に繋げてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は1,140,734千円（前年同四半期比1.4%の減少）、セグメント利益は83,354千円（前年同四半期比34.8%の増加）となりました。

② ビジネスサービス事業

ビジネスサービス事業では、中小企業の経営支援のため、会計・経理業務を中心に各種サービスを提供しております。経済産業省より経営革新等支援機関に認定され、お客様の経営課題の改善のための経営力向上計画策定や事業再構築支援等のコンサルティングサービスを提供しております。

コア業務の会計サービスは、月次決算等の財務報告を中心に、資金繰りサポートや記帳及び給与計算等の事務代行（BPO）サービスの提供、並びに関連する会計・給与・販売管理ソフトのITシステム運用支援、及びリスクマネジメント（生保・損保代理店業務）を行っております。

第3四半期において、昨年より推進している法人向けサービスの新規獲得などの施策により月次会計並びに決算代行サービスなどのコア業務が安定した伸びとなりました。引き続きクライアントのDXを活用した効率化や事業承継、認定支援機関としてのコンサルティングサービスの提供など企業のバックヤード業務に対する各種サービスの拡充に努めてまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は249,955千円（前年同四半期比1.4%の増加）、セグメント利益は31,532千円（前年同四半期比7.3%の増加）となりました。

③ 介護サービス事業

介護サービス事業では、介護付き有料老人ホームを3施設（栃木県佐野市、群馬県館林市、長野県小諸市）及び在宅支援事業（通所介護・短期入所生活介護・訪問介護・居宅介護支援・健康促進事業）を1施設（長野県小諸市）運営しております。

介護付き有料老人ホームでは、本年5月以降にお客様の老衰や持病の悪化等によるご逝去が重なりましたが、各種イベントや施設見学会の開催と、地域医療・介護関係機関との連携強化により、徐々に入居稼働率が回復しており、概ね前第3四半期連結累計期間を超える実績を確保しております。

また、デイサービスやショートステイ等の在宅介護サービスにおいても、感染症対策（BCP）の整備・実施により当施設では大きな感染を発生させることなく高い稼働率を維持しております。

また、費用面においては、高騰する食材価格や光熱費などのコストを適切にコントロールする一方、質の高い介護サービスの維持・拡充のための人件費や介護スタッフ補充に伴う採用活動費用は、将来への投資と考え拡充しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は548,266千円（前年同四半期比0.9%の増加）、セグメント利益は24,210千円（前年同四半期比12.3%の増加）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ57,554千円減少し、1,520,836千円となりました。これは主として、現金及び預金の減少114,438千円、売掛金の増加33,410千円、商品の増加18,727千円によるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ39,907千円増加し、1,400,265千円となりました。これは主として、土地の増加78,121千円、ソフトウェア仮勘定の減少42,878千円によるものであります。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ38,946千円減少し、387,567千円となりました。これは主として、賞与引当金の減少34,154千円によるものであります。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ36,510千円減少し、529,144千円となりました。これは主として、長期借入金の減少46,260千円、退職給付に係る負債の増加9,537千円によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ57,809千円増加し、2,004,390千円となりました。これは主として、利益剰余金の増加51,276千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年12月13日に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

(4) 利益配分に関する基本方針及び当期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つであると認識しており、「安定配当を基本とした継続的な株主還元」を行うことを基本方針としております。また、株主への利益還元機会を充実させることを目的に、年2回の配当（中間配当と期末配当）を実施しております。なお、当社では、剰余金の配当等を取締役会の決議をもって定めることができる旨を定款で定めております。

①株主優待（記念優待）について

当社は、2025年7月8日公表の「名古屋証券取引所メイン市場への重複上場記念株主優待実施に関するお知らせ」のとおり、名古屋証券取引所メイン市場への重複上場に伴い株主の皆様への日頃のご支援に感謝の意を込めて、2025年10月末日現在の当社株式1単元（100株）以上を保有されている株主様を対象に、クオカード1,000円の記念優待を実施する予定です。

②株式の無償割当てについて

2025年8月25日公表の「株式の無償割当てに関するお知らせ」のとおり、当社は、2024年12月13日公表「上場維持基準への適合に向けた計画について」の一環として、流通株式の確保は重要な経営課題であると認識しており、当社株式の流動性を高めるとともに、当社保有の自己株式を有効活用して株主の皆様へ還元することを目的に、株式の無償割当てを実施することを決議いたしました。

この決議により、2025年9月30日を基準日とし、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき普通株式0.1株の割合をもって、当社が保有する自己株式を無償で割当てする予定です。

③当期の配当について

2025年10月期の配当につきましては、2025年3月14日公表の「中間配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」のとおり、年間配当予想1株あたり14円（中間配当7円、期末配当7円）を予定しております。

2025年8月25日公表の「株式の無償割当てに関するお知らせ」及び「期末配当予想の修正（実質的増配）に関するお知らせ」のとおり、2025年10月1日付で普通株式1株につき0.1株の割合で自己株式の無償割当てを行う予定であり、この割当てが実施されることで、実質的に1割の増配となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,258,499	1,144,060
売掛金	236,605	270,015
商品	24,400	43,128
仕掛品	1,206	1,527
その他	57,789	62,253
貸倒引当金	△109	△147
流動資産合計	1,578,391	1,520,836
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,036,446	1,060,002
減価償却累計額	△433,409	△452,511
建物及び構築物（純額）	603,037	607,491
土地	210,813	288,935
その他	138,681	109,807
減価償却累計額	△122,034	△95,275
その他（純額）	16,647	14,532
有形固定資産合計	830,498	910,958
無形固定資産		
ソフトウェア	128,760	151,281
ソフトウェア仮勘定	84,970	42,092
のれん	22,229	11,114
その他	2,427	1,617
無形固定資産合計	238,388	206,106
投資その他の資産		
投資有価証券	63,240	65,100
繰延税金資産	161,450	155,667
その他	82,477	77,957
貸倒引当金	△15,697	△15,524
投資その他の資産合計	291,470	283,199
固定資産合計	1,360,358	1,400,265
資産合計	2,938,749	2,921,102

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,257	72,127
1年内返済予定の長期借入金	61,680	61,680
未払費用	112,907	109,140
未払法人税等	22,560	18,172
賞与引当金	71,174	37,020
その他	106,934	89,427
流動負債合計	426,513	387,567
固定負債		
長期借入金	116,840	70,580
役員退職慰労引当金	16,685	16,685
株式給付引当金	36,693	42,402
退職給付に係る負債	338,883	348,420
資産除去債務	40,810	36,675
その他	15,741	14,380
固定負債合計	565,654	529,144
負債合計	992,168	916,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	200,000	200,000
資本剰余金	348,199	348,685
利益剰余金	2,238,524	2,289,800
自己株式	△838,724	△833,972
株主資本合計	1,947,999	2,004,514
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,418	△123
その他の包括利益累計額合計	△1,418	△123
純資産合計	1,946,580	2,004,390
負債純資産合計	2,938,749	2,921,102

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
売上高	1,961,278	1,949,564
売上原価	1,198,863	1,173,415
売上総利益	762,415	776,149
販売費及び一般管理費	641,430	628,960
営業利益	120,984	147,188
営業外収益		
受取利息	5	536
受取配当金	6	6
受取保険金	2,023	—
施設利用料	1,182	1,317
助成金収入	3,395	1,875
その他	972	876
営業外収益合計	7,585	4,613
営業外費用		
支払利息	966	1,007
支払手数料	—	2,000
その他	13	—
営業外費用合計	979	3,007
経常利益	127,590	148,794
特別利益		
固定資産売却益	982	—
受取和解金	4,000	—
特別利益合計	4,982	—
特別損失		
固定資産除却損	33	8,808
棚卸資産廃棄損	2,484	—
特別損失合計	2,517	8,808
税金等調整前四半期純利益	130,055	139,985
法人税、住民税及び事業税	33,276	40,775
法人税等調整額	13,364	5,218
法人税等合計	46,640	45,993
四半期純利益	83,415	93,991
親会社株主に帰属する四半期純利益	83,415	93,991

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
四半期純利益	83,415	93,991
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	709	1,295
その他の包括利益合計	709	1,295
四半期包括利益	84,124	95,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	84,124	95,286

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	美容 I C T事業	ビジネス サービス事業	介護サービス 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,157,024	246,547	541,484	1,945,056	—	1,945,056
その他の収益(注)2	—	—	1,772	1,772	14,449	16,222
外部顧客への売上高	1,157,024	246,547	543,256	1,946,828	14,449	1,961,278
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	2,520	2,520
計	1,157,024	246,547	543,256	1,946,828	16,969	1,963,798
セグメント利益	61,856	29,399	21,553	112,809	8,175	120,984

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

(注)2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	112,809
「その他」の区分の利益	8,175
四半期連結損益計算書の営業利益	120,984

当第3四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計
	美容 I C T事業	ビジネス サービス事業	介護サービス 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	1,140,734	249,955	546,494	1,937,185	—	1,937,185
その他の収益(注)2	—	—	1,772	1,772	10,607	12,379
外部顧客への売上高	1,140,734	249,955	548,266	1,938,957	10,607	1,949,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	2,520	2,520
計	1,140,734	249,955	548,266	1,938,957	13,127	1,952,084
セグメント利益	83,354	31,532	24,210	139,096	8,092	147,188

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

(注)2. その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」に基づく賃貸収入であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	139,096
「その他」の区分の利益	8,092
四半期連結損益計算書の営業利益	147,188

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
減価償却費	121,550千円	100,182千円
のれん償却額	11,114 "	11,114 "